

玉野市は、岡山県の南端にあり、総面積は103.58平方キロメートル、人口は4月1日現在で61,681人、瀬戸内海沿岸の温暖な気候風土の中、美しい自然に恵まれた風光明媚な港町です。

古くから造船業、銅の製錬、繊維業や製塩業など、本市を支える産業とともに発展してきました。

玉野市消防団は昭和22年9月28日に設置され、市内に18分団を有する組織です。

現在の団員数は558名、うち女性団員は12名で、昨年10月の全国女性消防操法大会に出場しました。

岡山県玉野市といえば、山火事が多いことで知られた町でもありまして、平成10年11月に第1回「全国山火事サミット」が開催されています。

今日は山火事消火活動で、防災功労者内閣総理大臣表彰を頂きました、石島林野火災での、私の体験をお話したいと思います。

海に面した玉野市で唯一の有人の島、石島が本日の舞台でございます。

石島とは、岡山県玉野市と、香川県直島町にまたがっている、総面積264ヘクタールの島で、民家は玉野市側だけにあり、石島港の廻りに集中しており、現在38世帯87

人が暮らしています。

その石島が5年前のまさに今日この時間、平成23年8月9日（火）14時20分頃、県境付近の、香川県直島町側の山林から出火。

この日、私が出動の電話を受けたのが、〇時〇分頃だったと思います。それから急いで家に帰り、分団長として団員〇名とともに待ち合わせの港へ行き、船舶に乗り込みました。

そして現場へ着くまでの、船舶から見える火の勢いは、風もあって凄まじかったと同時に、恐怖さえ感じました。

現場指揮本部が、石島分校の校庭にあり、そこへ到着したことを伝え、待機しておりました。

日が暮れても火の勢いは、おさまらず、島の住民の方々が来られて、心配そうな顔で「大丈夫じゃろうか？」「火はこっちの方まで来るんじゃないか？」「今日は寝れんな」などと、問いかけてきました。

そこで私は、自信を持ってこう言いました。「玉野市の消防団は、今まで山林火災で、民家に延焼させたことは1度もないですよ」と。「それに他の分団員にも聞いて下さい、同じ返事が返ってきますよ。」と。

納得はされていない様でしたが、「よろしくお願いします。」と言われて家に帰って行かれました。

そうしてる間にも、次々と分団員が、現場指揮本部へと到着し、私は団長の、各分団はどこどこへ、という指示に

より、近くの分団に合流し、消火活動を行いました。

しかしながら消火活動するも、夜が更けてくると、火の勢いがますます増して、煙で覆われた空は、炎で赤く染められ、火の粉も降り続き、山の奥からは、激しく燃える音で、再び恐怖に駆り立てられました。

それと同時に、民家への延焼を、食い止めなければいけない、責任の重大さも強く感じました。

夜が明けると、県と自衛隊のヘリコプターが応援にきてくれました。

時間が経つにつれ、気温も鰻登りに上昇し、33度を超える炎天下での消火活動は、年齢と共に体力が消耗するばかりです。

それを見かねたように、島の女性の方々が、我々に労いの言葉と、炊き出しやら、飲み物やらをたくさん用意して下さり、心も身体も、とても休まりました。

今回の火災の特徴は、離島で起こり、人員・資機材の運搬は、船舶しかなかったこと。

広葉樹等が密集している天然林で、燃え広がりやすく、消えにくい状態で、さらに空気も乾燥していたこと。

小型動力ポンプのみの消火活動になり、入り込めない場所はヘリコプターによる、散水に頼らざるを得なかったこと。

貯水池が少ないため、海岸からのライン延長を、余儀なくされたこと。

そのため確実な中継操作と、密な連絡が必要とされました。などと様々な要因が絡み合って、鎮火まで6日間を要し、島の9割ちかくの225.5ヘクタールを焼損するという、大規模林野火災でした。

しかしながら、一人として人的被害もなく、島内の民家、及びライフライン設備等への延焼を、阻止できたことは誇りに思います。

これも岡山、香川両県の消防職員、消防団員、島民の方々の連携、協力があったからこそだと、痛感しました。

この火災のデータを数字でみると

出火時刻は平成23年8月9日 14時20分ごろ

覚知時刻は同日14時29分

鎮圧時刻は12日の16時00分

鎮火時刻が14日、17時で

燃焼時間は122時間40分のながきにわたっています。

出火場所は香川県側の山すそ付近、

出火した時の気象状況ですが

天気は晴れ、気温33.3度 湿度52.2パーセント

南南西の風 1.5メートルでした。

焼損面積は 玉野市側が 50.4ヘクタール

香川県直島側が175.1ヘクタール

合計 225.5ヘクタール

石間の概要は総面積が264ヘクタール

当時は世帯数が38、103人が暮らしていました。

山の林相は松を主体とした天然林でした。

なお火災の出火原因は不明となっています。

出動人員は6日間の延べ人員は918名、

放水したポンプの台数は玉野が14台、香川県が3台の
合計17台

香川県側の活動状況は

直島町消防団が延べ16分団、193名

高松市消防局が延べ53名

ヘリコプターの活動状況は

岡山、香川、徳島、高知の県防災ヘリが延べ10機

自衛隊ヘリが延べ22機 合計32機という状況です。

現場指揮本部についてですが

設置されましたのが、8月9日の16時18分

解散は14日19時でした。

今後も、今回の消火活動で得た、知識と経験を生かし、
市民の安心安全を守るため、尽力していきたいと思えます。

以上で私の体験談を終わります。

ご清聴ありがとうございました。